

平成26年度
消防局予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度消防局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・3

1 平成26年度消防局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成26年度消防局予算要求総括表

【一般会計】

平成26年度要求総額 6,022,538千円
 (平成25年度予算額 2,818,335千円)
 前年度比 +113.7%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 (A)	平成25年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
市民防災活動への支援	6,596	6,596	0
福祉医療関連施設等防火安全対策の強化	11,475	8,100	3,375
応急手当の普及啓発活動の推進	2,084	1,991	93
消防団の充実・強化	125,265	104,651	20,614
緊急通報システム事業の推進	59,516	59,452	64
消防艇更新	355,407	4,900	350,507
八幡東消防署移転新築	90,838	28,000	62,838
門司消防署建替新築	24,204	0	24,204
消防施設の耐震化	44,895	23,400	21,495
消防通信指令システムの充実・強化	3,218,400	0	3,218,400
消防車両更新	431,063	361,850	69,213

(2) 平成26年度消防局経営方針

「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」という使命のもと、北九州市基本構想・計画に基づき「健康で安全・安心な暮らしの実現」に取り組んでいくとともに、全国各地で発生した大規模災害の経験と教訓を踏まえた大規模災害対策や、焼死者防止対策など地域を含めた総合防災力の充実強化に取り組みます。

さらに、年々増加している救急出動件数への対策を強化します。

① 地域の総合的な災害対応力の強化

市民の防災活動に対する積極的な支援・指導を行うとともに、市場商店街火災対策や福祉医療関連施設等の防火安全対策の取り組みを強化します。

また、災害時に適切な行動ができるよう、応急手当の普及啓発活動を積極的に推進します。

さらに、地域防災の要である消防団活動の充実・強化を図ります。

② 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

高齢者等災害弱者が、安心して住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、緊急通報システムによる迅速な対応を図るとともに、消防団員による「いきいき安心訪問」を積極的に推進します。

その他、火災による死者を抑制するため、住宅用火災警報器の設置促進をはじめ、災害弱者施設の消火・避難・通報体制の確保に向けた指導・助言など各種防火対策に取り組みます。

③ あらゆる災害に対応できる消防力の強化

近年の救急需要の増加対策として、小倉北消防署に第二救急隊を配置します。

また、大規模災害対策の強化により、あらゆる災害に迅速に対応できる消防力の強化を推進します。

さらに、水上消防力を強化するため消防艇を更新するとともに、消防ヘリコプターの運航体制を、現行の平日日中に加え、土、日及び祝日を含めた通年日中の運航体制に見直します。

④ 消防施設・資機材等の整備

これまで築いてきた豪雨災害等の対応力に加え、東日本大震災のような大規模災害に対応できるよう、防災拠点の耐震化や資機材などの整備を図ります。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 地域の総合的な災害対応力の強化

Ⅱ-1・継続 ・市民防災活動への支援 6,596 千円
「市民防災会」の育成指導や活動助成を進め、地域ぐるみで開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害のない安全・安心なまちづくりを推進します。

Ⅱ-1・継続 ・木造市場等防火安全対策モデル事業 2,722 千円
無線連動型火災警報器及び簡易水道消火装置を市内6箇所の市場にモデル事業として設置し、地域活性化の機運を高め、市場を介した元気なまちづくりに取り組みます。

Ⅱ-1・継続 ・福祉医療関連施設等防火安全対策の強化 11,475 千円
有床診療所火災を踏まえ、福祉医療関連施設等に対する関係局のより緊密な情報共有、連携を図るとともに、消防法令に基づく防火対象物への指導強化を図り、市民生活の安全を確保します。

Ⅱ-1・継続 ・応急手当の普及啓発活動の推進 2,084 千円
市民の救命効果の向上を図るため、AEDを含めた応急手当の普及啓発活動を積極的に推進します。

Ⅱ-1・拡充 ・消防団の充実・強化 125,265 千円
(拡充分 20,614 千円)
老朽化した消防団施設を計画的に整備し、資機材等の装備品を整備するなど消防団機能の充実、強化を図ります。

(2) 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

Ⅱ-2・継続 ・緊急通報システム事業の推進 59,516 千円
ひとり暮らしの高齢者世帯等に火災センサーなどを接続した緊急通報システムを設置することにより、緊急事態を未然に防止し、かつ被害の軽減を図ります。

Ⅱ-2・継続 ・いきいき安心訪問の推進 8,487 千円
介護職員初任者研修の資格を習得した女性消防団員が、ひとり暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災指導や簡単な在宅支援サービスを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、安心感の向上を図ります。

Ⅱ-1・継続

・住宅防火対策の推進

1,382 千円

住宅火災による死者を抑制するため、すべての住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器の設置促進を図るなど、住宅防火に係る啓発活動を積極的に推進します。

(3) あらゆる災害に対応できる消防力の強化

Ⅱ-1・継続

・大規模災害対策用資機材の充実・強化

16,632 千円

東日本大震災を教訓に、大規模災害に必要な不可欠な消防活動用資機材を整備することで、緊急消防援助隊の活動能力を向上するとともに、ハイパーレスキュー隊の東西体制の構築に向け、消防活動能力の向上及び消防体制の強化を図ります。

Ⅱ-1・継続

・消防艇更新

355,407 千円

水難救助や離島災害、陸域の大規模火災における海上からの大量放水等、多岐に亘る消防活動を迅速に行うため、老朽化した消防艇「ひまわり」を更新し、水上消防力の強化を図ります。

Ⅱ-1・継続

・消防ヘリコプター通年日中運航体制の整備

6,503 千円

消防ヘリコプターの運航体制を、現行の平日日中に加え、土、日及び祝日を含めた通年日中の運航体制に見直し、災害対応力の強化を図ります。

(4) 消防施設・資機材の整備

Ⅱ-1・継続

・八幡東消防署移転新築

90,838 千円

八幡東区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した八幡東消防署の移転新築を行います。

Ⅱ-1・新規

・門司消防署建替新築

24,204 千円

門司区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した門司消防署の建替新築を行います。

Ⅱ-1・拡充

・消防施設の耐震化

44,895 千円

(拡充分 21,495 千円)

災害発生時において防災拠点となる消防施設の耐震化を計画的に図るため、耐震診断や耐震補強計画を実施します。

Ⅱ-1・継続

・消防通信指令システムの充実・強化

3,218,400 千円

消防救急無線のデジタル化に伴い、通信設備等の整備を行うとともに、老朽化した消防指令システムの更新を実施します。